

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	槻木の廻り舞台を活用した地域活性化事業
事業主体 (連絡先)	茅野市 泉野 槻木区
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
総事業費	1,547,199円 (うち支援金: 1,069,000円)

事業内容

○ソフト事業

A 槻木の廻り舞台演劇再建事業

① 柳川劇団再建事業

昭和30年代まで活動していた、当時の青年団OBを中心に、地域の公民館活動グループや若者たちに演劇芸能等の活動を支援するため、講師等を招き芸能祭の中核を成すべく技能向上に資する。



【立沢青年団】

B 泉野地区芸能祭

① 槻木の廻り舞台「秋の会」

地域のボランティアで構成する「槻木区地域活性化委員会のメンバーを中心に企画・運営をし、小学校・泉野地区コミュニティ運営協議会の3者共催事業として開催した。地域の芸能団体、保育園・中学校が協働で、事業の運営をする。

出演者は、地元の保育園・小学校・中学校の児童生徒をはじめ、昔舞台で演じていた青年団OBの出演とその後継者である地域の若者達、地区外からの出演者による舞台発表など、数多くの団体に出演していただく。それぞれの団体と地域との絆づくりを醸成する。



【秋の会小学生6年】

C 地域活性化委員会の組織化・事業の企画運営

- ・ボランティアの加入促進
- ・企画運営等の会議の開催

○ハード事業

A 舞台倉庫の増築工事

廻り舞台南側倉庫に増築し、舞台上にある花道などを増築倉庫内に収納し、舞台を広く使えるようにする。

B 舞台照明装置増設工事

廻り舞台奥側が暗く見えにくいので、LED照明を増設し、舞台奥を観客席から見やすくする。



【秋の会柳川劇団OB&2年生】



【地域活性化委員会】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

○ソフト事業

A 槻木の廻り舞台演劇再建事業

① 柳川劇団再建事業

昭和30年代まで活動していた、当時の青年団OBや芸能等活動者から、地域の公民館活動グループや若者達に演劇芸能等の活動を支援するため、講師等を招き芸能祭の中核を成すべく、地域の若者の技能向上につなげた。今後継続的な活動につなげることができた。

B 泉野地区芸能祭

① 槻木の廻り舞台「秋の会」 【演目】16演目

○八ヶ岳泉龍太鼓保存会子供会 「八ヶ岳ほか2曲」

○泉野保育園 「踊り体操 昆虫太極拳ほか1曲」

○立沢青年団 「踊り 夕鶴の舞ほか2曲」

○カミッツ・キノーキ 「芝居 浦島太郎」

○やつがたけ民謡研究会 「民謡 武田節ほか5曲」

○東部中学校 吹奏楽部 「吹奏 3曲」

○柳川劇団AKBa 「踊り 恋」

○柳川劇団OB・青年団OB 柳沢静外6名「テレメンテン」

○柳川劇団OB・青年団OB 矢嶋丈了 「一本刃土俵入り」

○柳川劇団OB・青年団OB 矢嶋丈了&2年生「お諏訪節」

○泉野小学校1~3年生「踊りようこそジャパリパークへ」

○泉野小学校4年生「創作俳句・創作短歌 泉野っ子うた」

○泉野小学校5年生 「ぼくたちの提案」

○泉野小学校6年生「創作歌舞伎風劇

僕の名は、でいだらぼっち 泉野伝説」

○泉野小学校全児童「合唱 世界でひとつのハーモニー」

○全体合唱 泉野テーマソング

「すべてのいのちが一泉野ふるさと」

【観客数】 約350人

C 槻木区地域活性化委員会の組織化

企画運営等の会議の開催

役員会 3回

総会 3回

小学校打ち合わせ 3回

○ハード事業

A 舞台倉庫の増築工事

6.39㎡増築し、廻り舞台上にあった花道などを増築倉庫に収納した。収納後は、舞台が広く使えるようになり、出演者から好評を得た。

B 舞台照明装置増設工事

LED照明を3基増設したことで、舞台奥も明るくなり、観客席から奥の出演者がよく見えるようになったと好評を得た。

【目標・ねらい】

- ① 子供たち若者たちの郷土愛の熟成
- ② 地域を超えての文化交流
- ③ 学社連携による地域活性化
- ④ 舞台の有効利用

※自己評価【A】

【理由】

計画から「秋の会」までを通じ、子どもたちの郷土への思いや、出演者の地域間の絆づくりを熟成させた。

芸能祭槻木の廻り舞台「秋の会」では、「ここで発表したい」と出演団体・演目が増え、当初計画した時間も30分延長となった。観客数も当初の見込みより増え、盛大な芸能祭を行うことができた。

最後に観客と出演者で合唱した地域のテーマソングが芸能祭とコラボし、会場の地域の皆さんの心が一つとなり感動的でした。

また、今年も地域外の方々が参加していただき、廻り舞台を通じた文化交流も継続して行えた。

槻木区地域活性化委員会の活動は、舞台の活用を通し、様々な交流の場となり、学校と地域住民の絆づくり連携の強化を図ることができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

舞台を活用した地域活性化の取り組みについて、

今までの活動により、廻り舞台の知名度が上がってきていて、泉野地区芸能祭当日以外でも、廻り舞台を見学に訪れる地区外の方々が増えています。また、倉庫増設による舞台の整理、照明の増設により、廻り舞台を使いたい団体が出てきました。

今後は、地域のイベントなどで幅広く使われるよう展開していきたい。

泉野地区芸能祭の取り組みについて、地域の宝である廻り舞台を利用して実施する大変意味のある事業です。子ども達（保育園・小学校・中学校）と地域の皆さんが、連携し芸能祭を開催したことは、地域の絆づくりにとっても役に立つ事業ができました。今後も、地域の絆づくりとして継続して学校と地域との連携を図ることや、更に芸能祭を通じ広域的な文化交流の場として発展した取り組みを継続する。

継続した取り組みを実現するため、更に舞台運用について地域の協力者を増やしていく取り組みを継続していきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある